

第 99 回デジタル放送普及活動作業班会議 議事録（案）

- 1 日時 2023 年 5 月 19 日（金） 15 時 00 分～16 時 38 分
- 2 場所 一般社団法人電波産業会内第 3 会議室、及び Webex 会議
- 3 出席者

（構成員）

委員：

高田議長、齋藤副議長、（株）TBS テレビ 深澤委員、（株）テレビ朝日 伊藤委員、（株）東芝 青木委員、日本電気（株）橋本委員、長井委員、NHK 岡野委員（採用国対応 TF 主任）、（株）テレビ東京 樽見委員、（株）日立国際電気 宮下委員、（株）フジテレビジョン 大森委員、マスプロ電工（株）犬飼委員、Dolby Japan（株）勅使川原委員

情報共有者：

日本電気（株） 平岡様、佐潟様、福本様、NHK（次世代放送検討国対応 TF 主任）神原様、八千代エンジニアリング（株）峯松様、（株）ピクセラ 三上様、（株）ACCESS 西様

（オブザーバ）

放送技術課 西室技術企画官、谷田課長補佐、高橋国際係長、荻原官

国際経済課 林専門職、大隈官

国際協力課 加藤課長補佐、鈴木主査、安倍係長、太田官

（事務局）

岡野、山田、中村、佐久間、小島

4 ＜配付資料＞

資料 DF99-1 第 98 回デジタル放送普及活動作業班会議議事録（案）

資料 DF99-2 ブラジル TV 3.0 CfP 物理層試験進捗報告

資料 DF99-3-1 地上デジタル放送システムの国際普及活動 2022 年度実施報告（クリーン版）

資料 DF99-3-2 地上デジタル放送システムの国際普及活動 2022 年度実施報告（修正履歴版）

資料 DF99-4-1 地上デジタル放送システムの国際普及活動 2023 年度実施計画（クリーン版）

資料 DF99-4-2 地上デジタル放送システムの国際普及活動 2023 年度実施計画（修正履歴版）

資料 DF99-4-3 添付資料 20200730_作業班およびタスクフォース運営規約

資料 DF99-5 NAB Show 2023 出張報告

（参考 FOBTV のプレゼンファイルは、ARIB のファイルサーバーを参照）

資料 DF99-6 SET EXPO 2023 における出展対応について

資料 DF99-7 Global Digital Terrestrial Transmission Workshop

資料 DF99-8-1 ITU-R SG6 ブロック会合の結果と次会合に向けた『今後の課題』について

資料 DF99-8-2 WP6A (Terrestrial broadcasting delivery)：結果報告と課題(A1)

資料 DF99-8-3 ITU-R SG6 ブロック会合の結果と次会合に向けた『今後の課題』への回答
（案）

資料 DF99-9 ISDB-T 海外普及活動予定表

参考資料 DF99-1 デジタル放送普及活動作業班構成員名簿

5 議事要旨

開会に先立ち、今回会議から参加する総務省放送技術課の谷田課長補佐、及びテレビ東京の樽見委員にそれぞれ自己紹介いただいた。

- (1) 前回議事録案〔資料 DF99-1〕について事務局より出席者に確認し、特にコメントなく承認された。

事務局の小島より、議事(4)、(5)、(6)の補足として、2023 年度実施計画(案)、設置要綱の改正、2022 年度実施報告(案)共にデジタル放送国際普及部会、普及戦略委員会での書面審議を行い、3 月末までにご承認いただいたことを説明し、関係各社様のご協力に感謝を述べた。

- (2) ブラジル TV 3.0 関連現状報告として、次世代放送検討国対応 TF の神原主任より概要説明があり、続いて橋本委員より〔資料 DF99-2〕にもとづき現状と今後の見込みについて説明した。

事務局の中村から、室内試験後に予定されている屋外試験のスケジュール見通しと、室内試験の対象となる方式候補について質問があり、橋本委員より、米国(ATSC 3.0)方式、日本方式、5G Broadcast 方式が対象となっていると聞いていると回答した。スケジュールは、6 月から 8 月にかけてこれら 3 方式を順に室内試験を行い、9 月か 10 月にこれらのうちの 2 方式を屋外試験の対象にするかの選定を行い、全ての屋外試験は 2024 年 3 月末には完了すると聞いていると説明があった。

また、事務局の中村から、中国が室内試験の候補に入っていないことについて、総務省に質問があり、西室技術企画官より、中国方式が下りたという話について、ブラジル政府や SBTVD フォーラム関係者から正式にその話が届いた訳ではない。ただ、室内試験などにおける各方式の日程調整の連絡内容などからそのように推察しているとコメントされた。

- (3) 地上デジタル放送システムの国際普及活動 2022 年度実施報告及び 2023 年度実施計画について議長より、前回承認された案に対し、その後の差分について〔資料 DF99-3-1〕、〔資料 DF99-3-2〕、〔資料 DF99-4-1〕及び〔資料 DF99-4-2〕をもとに、説明した。

引き続き事務局の小島より上記資料の末尾に添付されている 2022 年度特別経費収支、2023 年度特別経費予算について、最終確定版を報告した。

また、小島より、これら確定版を週明けにも DiBEG の上部組織 国際普及部会及び普及戦略委員会に例年通り報告させていただく旨を説明した。

- (4) NAB Show 2023 出張報告について、議長より〔資料 DF99-5〕にもとづいて説明した。

- (5) ブラジル SET EXPO 2023 対応準備について事務局の佐久間より〔資料 DF99-6〕に基づき、今年度は(例年の 8 月下旬ではなく)8 月上旬に開催されるイベントに事務局として対応すべく、出張者の派遣や展示物準備にともなう出費について、まだ主催者側からの展示詳細計画や会合予定について未確定のため費用明細が不詳のままではあるものの、今後の具体的な準備のためあらかじめ承認いただきたいと審議・承認を求めた。

総務省国際経済課の林専門職より、4 月に本件展示募集をかけ、これまでのところ日本電気、日立国際電気、JTEC(EWBS と CAP を連携した総合防災配信システム)、NHK が応募してきて

おり、DiBEG を含めると 5 社となること；
昨年は 8 社が出展したが、今回そのうち 3 社が見合わせて再考いただける見込みがないこと；
展示スペースは昨年同様 70 平米を想定していること；
展示の請負業者を入札公告中で 6 月 12 日（月）には業者決定予定であること；
この業者決定次第、例年通りに展示に向けた説明会を予定していること；
この業者はパネルやパンフの作成・ポルトガル語への翻訳・展示モニター調達などの支援業務を含める予定であると補足された。

議長より出席者に審議を促し、反対意見はなく承認され、DiBEG として参加する方向で準備を進めることになった。

林専門職より、過去の SET EXPO において Japan Pavilion で開会のイベントを実施していた経緯があり、今回も集客を増やすためにイベントを企画することにしており、DiBEG に協力をお願いすることを考えていること；
ISDB-T 国際フォーラムの開催について、ブラジル通信省が考えている議題としてフォーラムの一般規約を更新すること（現行規約ではオンライン会議・ハイブリッド会議が開催されないため現在の社会状況に即した内容に更新すること）、ブラジル Ginga の最新改良版への更新や ASO の情報共有があること；
フォーラム規約が改定されオンライン会議が認められれば加盟国の技術者が集まる技術調和会合を開催していきたいとのことが伝わってきているが、今回技術調和会合が開催されるかどうかについてはまだ連絡がないこと；
ブラジル TV 3.0 技術については 2024 年中には方式決定すること、また 2024 年 SET EXPO でデモンストレーションを行いたいとの意向を示していること、
が補足された。

事務局の中村より、ISDB-T 国際フォーラム技術調和会合の開催について、まず ISDB-T 国際フォーラムの規約が改定され、この改定を待って技術調和会合が開催されるという理解でよろしいか？との問いに対し、林専門職より、そのとおりであると確認された。
議長より、技術調和会合の開催はすぐには難しいと思われるので、もう少し具体的になったところでご連絡いただければありがたいとコメントがあった。

八千代の峯松様より JTEC の SET EXPO 2023 での展示内容（EWBS と CAP を連携した総合防災配信システム）について、これは先日の総務省での会合結果を受けての展示と理解しているが、具体的にどのようなものか質問がなされた。
林専門職より、まだ機器ができていない段階ではないので、地デジを活用した防災システムのコンセプトを紹介する程度になりそうで、場合により簡単なデモが含まれることになるかもしれないと回答された。

DF99-7] にもとづいて案内し、情報共有した。

NHK（次世代放送検討国対応 TF 主任）の神原様より、NHK のクレジットでこのワークショップに参加することを検討している； 内容としては昨年度まで総務省の技術試験事務でやらせていただいた高度化方式の内容や情通審などで公開されている内容や状況を紹介する方向で、総務省放送技術課の関係者とも相談しながら準備を進めているとの説明があった。

- (7) ITU-R SG6 ブロック会合の結果と次会合に向けた『今後の課題』への回答について議長より [資料 DF99-8-1] 及び [資料 DF99-8-2] にもとづいてこれまでの経緯と、それにもとづく回答案 [資料 DF99-8-3] の概要を説明し、この回答案にて 5 月 22 日（月）の週に回答予定であり、この内容について意見あれば 5 月 22 日（月）までに連絡をいただきたいと依頼した。

- (8) 今後のスケジュールについて谷田課長補佐より [資料 DF99-9] にもとづいて説明された。総務省による中南米 ISDB-T 採用各国向け技術支援のうち、ブラジル次世代地デジ技術の提案募集についてはこの会議の最初の議題で現況説明のとおり NEC を中心に対応を進めていること； アンゴラについて、専門家派遣を 4 月 21 日（金）に現地完了し、引き続き日本で Master Plan 策定作業を実施中で 7 月末までに完了予定としているが、その延長について JICA で検討しているところであるとの補足説明があった。

- (9) その他の議題として事務局参与の山田より、NAB SHOW 2023 報告の関連で欧米での地デジの 5G との融合の動向について質問がなされた。

議長より、ETRI について言えば、もともと ATSC 3.0 のフレーム同期信号は 5G の信号と互換性を持つように 5MHz の帯域幅となっており、ATSC3.0 のみの信号で放送を開始しても将来フレームを後から追加（拡張）し 5G の信号も時分割で挿入できる規格であり、ETRI はその実機デモをしていたと紹介した。

神原様より、概要は高田議長の説明の通りで、ATSC と 5G に関連したデモでは一つのチャンネルで時間帯を ATSC と 5G Broadcast を 50% ずつシェアするシステムを展示していた； また欧州で言えば DVB-I のドキュメント化を推進していることが FoBTv 会合でも説明されていたと補足説明があった。

また議長より、現在の 5G の放送モード（Broadcast/Multicast）は Release-17 として規格化されているが、5G New Radio による放送モードは Release-19 の予定であり約 2 年後をめどに規格化されるとみられる； ただし NAB Show 2023 での展示会場を回ってみた限りでは 5G 放送関連の展示は、Rohde & Schwartz 社以外では見当たらなかったもので、5G 放送の大々的な宣伝はなかったと思う； 移動体／携帯端末で放送が受信できるようになると受信機コストも安くなるのでは？と期待している人たちがそれなりにいて、ブラジルはそれをもとに採用候補の一つとして選定しているのではないか； ETRI は研究機関なので実用化まで含めて検討しているか不確かながら、5G 放送と互換性のある ATSC3.0 規格であれば将来 5G 放送をすることが可能と実機をもとに検証しているのでは、と補足された。

さらに、齋藤副議長より、ITU-R の世界でも 5G Broadcast は欧州の事業者を中心に力を入れているところで、直近では 3 月の ITU-R SG6 会合でもデモが実施されていた。ITU-R で

は、UHF 帯の在り方が議論されており、その関連で 5G を使用した放送も可能であることを欧州の放送関係者が積極的に PR し試験も行っていると補足された。

高田議長より、国内関係で言えば、4 年間の情通審の審議の中で方式提案の際に個人提案として 5G Broadcast が提案されているが、周波数利用効率がそれほど高いわけではなく（ISDB-T と同程度）、帯域幅など様々な課題があること、最新版の規格化は先延ばしという状況もあり、これを国内規格に入れるタイミングではないとして候補から落ち、ARIB による情通審への最終報告の中には入っていない、と追加説明があった。

NHK 技研の岡野委員／神原様より、NHK 技研公開が 6 月 1 日（木）～4 日（日）に行われ、予約なしで入場可能なのでぜひお出でいただきたいと案内があった。

(<https://www.nhk.or.jp/str1/open2023/index.html>)

次回 DiBEG 会議の開催予定は、2023 年 7 月 20 日（木）15:00 からと案内し、今回のようにリアル会合とウェブ会議を合わせたハイブリッドの会議にするかについては、今後の状況次第で別途ご連絡することとした。

以上